



令和8年度 第8号

令和8年9月30日



学校だより



「みなみっ子」

伊丹市立南小学校

校長 門間祐二

挑戦から学び 仲間とともに つながる子

↑南小学校HP

★令和8年度 全国学力・学習状況調査速報★

6年生を対象に4月に行われました「全国学力・学習状況調査」について本校の結果等をお知らせします。なお、この調査で測定できるのは学力の一部であり学校における教育活動の一つの側面です。

1. 学力に関する調査結果について

本校の結果は国語・算数とも全国及び県の平均を有意に上回る結果でした。無回答率も低く、最後まであきらめずに問題に取り組めたことがわかりました。

2. 全国平均を下回った問題について

- ○ ○ ○ (条件)
- 【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
- ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかきかっこ(「」)でくくること。
- ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
- 百四十文字以内にまとめて書くこと。

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

(参考文けん)

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

四 花山さんは、「集めた情報」をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、
どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えるとともに、引用して、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題です。引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するためには、引用する目的を明確にした上で、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書くことが重要です。原文に正確に引用することや、引用した部分と自分の考えとの関係などを明確にし、区別して書くことが大切です。（令和８年度学力学習状況調査報告書より）

複数の文章を比較し、引用することの目的やよさを捉えられるようにする 適切に引用し、自分の考えと書き分けられている文章とそうでない文章を読み比べるなどして、根拠となる情報を引用し、自分の考えと合わせて書くことで説得力が増すことなど、引用することのよさを児童が捉えられるようにすることが効果的です。（令和８年度 学力学習状況調査報告書 分析結果と課題より）

学校に行くのが楽しいと思いますか		R6	R7	R8
	南小	88.6	88.6	91.5
	兵庫県	83.6	85.1	84.3
	全国	84.8	86.5	85.3
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか		R6	R7	R8
	南小	79.1	69.0	83.7
	兵庫県	74.2	76.4	75.8
	全国	75.8	78.1	77.9
将来の夢や目標を持っていますか		R6	R7	R8
	南小	73.4	75.4	81.9
	兵庫県	81.9	82.3	89.0
	全国	82.4	83.1	81.8
自分には良いところがあると思いますか		R6	R7	R8
	南小	85.4	84.2	87.4
	兵庫県	83.5	86.1	84.5
	全国	84.1	86.8	85.6
先生はあなたの良いところを認めてくれますか		R6	R7	R8
	南小	89.2	96.2	92.2
	兵庫県	86.6	89.9	89.0
	全国	89.9	92.2	91.4
自分で学び方を考え、工夫することはできていますか		R6	R7	R8
	南小	83.6	74.7	75.3
	兵庫県	78.3	78.7	76.6
	全国	83.7	80.3	79.4
自分で ICT を使って学校でのプレゼンテーションを作成することができると思いますか		R6	R7	R8
	南小		82.9	59.6
	兵庫県		78.1	73.9
	全国		76.7	74.6

3. 調査項目について

「学校に行くのが楽しい」と答えている児童が多く、教師の関わりや学校活動だけでなく、地域やPTA活動での独自の取組の成果が出てきているのがわかります。また「自分には良いところがある」「先生はあなたの良いところを認めてくれる」という安心感から学びに向かう姿勢、夢に挑戦できる土台はできていると感じます。一方で「自分で学び方を考え、工夫することができているか」「自分でICTを活用して資料を作成する力」など、主体性や自主性を問われたときに全国より大きく下回ることもわかりました。

4. これからの学校、次期指導要領について

これからは誰もが情報技術を使いこなす社会になると予想され、急速に発達した人工知能（AI）が「先生役」の一端を担うようになり教員の果たす役割も変化しています。次期学習指導要領案では、小学校の総合的な探究の時間に「情報の領域」も新設されました。ICTを使いこなすことは必須、しかし、デジタル化の陰でSNSやYouTube、ゲームなどをやめられない子ども、子どもたち同士の対話が減り、関係が築けず孤立していくことも懸念されています。

5. 南小学校の研究について

南小学校では、「つながり」を大切にした研究を5年間進めてきました。その成果として、「知っている」ことも一歩踏み込み、自分の考えを話す子が増えてきたことや、友だちとの関わりで新たな発見を見つけようとする子の姿が増えてきているように感じます。これからの教師は子どもたちをしっかりと観察し、子ども同士をつないでいくコーディネート力が必要になってきます。学級経営と授業の両輪を大切にしながら、「つながる喜び」を実感できる子どもを育成していきます。

6. 学校や家庭で大切にしたいこと

調査結果より、「困りごとがあるときに先生や大人に相談できますか」「学校の悩みについて、あなたの親や家族はあなたとどれくらい話しますか」という質問項目の数値が全国平均より低い傾向にあります。背景には、教員も保護者も忙しく、学校でも家庭でもゆとりが持ちにくい状況があることがうかがえます。大人が立ち止まり子どもたちの話を聞ける「ゆとり」を持つことも必要です。同時に子どもたちにつけさせたい力として重要なのが、小学生から自分のことを自分で判断し、選択できる力だと考えます。わからない問題や出来事があるとすぐに正解を求め、わからないことや不安なことに対して臆病になっている気がします。高学年になる頃には、自分の夢や目標を持ち、自分のことを自ら判断し選択する「自己決定」、自分の決めたことに責任をもつ「自己責任」となる態度教育の育成が大切であると考えます。子どもの主体性は子どもの内面にあるものなので、子どもたちの主体性は教師や大人が「信じ、任せ、委ねる」ことで発揮するものだと思います、伴走者として寄り添うことが必要であると考えます。そのために、「自分で調べる」「自分で書く」「自分で覚える」「自分から話す」など自分から学習する態度が大切であると感じます。

子どもたちが自分らしさを発揮しながら、仲間とつながり、失敗を恐れず挑戦していけるよう、学校・家庭・地域が力を合わせて支えていきたいと思います。これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学力調査の結果を受けて学校運営協議会委員の感想

- ・「学校が好き」「先生に認められている」と感じている児童が多く、先生方の日頃の努力や教育活動の成果が表れていると感じる。地域やPTA 活動も活発であり、今後も学校を支えていきたい。
- ・以前は学力格差や二極化という言葉をよく耳にしたが、学校が「つながり」を大切にした取組を進めていることで、学力の底上げにもつながっているのではないかと感じる。
- ・以前に比べて、子どもも大人も「書く」活動が減っているように感じる。漢字は実際に書くことで身に付く面が大きい。自分の考えを言葉で表現したり、漢字を正しく書いたりする力を育てるためにも、時間をかけて書く機会を確保したい。効率だけを求めるのではなく、教育的な効果を意識した学習も必要である。
- ・AI を活用しながらも、自分で正しく判断する力を身に付けていくことが大切である。自分の考えを持たないままでは、フェイクニュースや根拠のない情報に振り回されてしまう恐れがある。
- ・「学校や家庭で大切にしたいこと」として対話の時間の重要性が挙げられている。しかし、塾から帰宅するのが 21 時を過ぎ、そこから翌日の準備をするとなると、子どもも大人も非常に忙しい。子育て中の保護者として対話の大切さは理解しているが、実際に時間を確保する難しさも感じる。また、スマートフォンやゲームとの向き合い方についても課題がある。スマホ依存の傾向が見られ、使用を制限すると機嫌が悪くなることもある。SNS や YouTube の利用について家庭でルールをつくることも大切だが、何より子どものために相談し合える親子関係を築くことが重要であり、その難しさも感じている。

睡眠は記憶の貯金箱 東洋羽毛 睡眠健康指導士の講演会より

9 月 11 日 5 年生と 5 年生保護者を対象に「睡眠について」の講演会が開かれました。

睡眠はただの休息と考えがちですが、脳や体の成長だけでなく、日々の集中力や記憶力、感情のコントロールなど関わっており、子どもたちの未来に大きく影響すると考えられます。（東洋羽毛 HP より）

「睡眠時間が長い人ほど風邪を引きにくい」「同じ勉強時間で睡眠時間が長い人ほどテストの結果がよかった」など調査結果をもとに、興味深い話を聞くことができました。昔は、睡眠時間を削って勉強するのが良い、と言われてきたことが大谷翔平選手の活躍やクイズ王の伊沢さんの実践から今は、たくさん勉強や運動して睡眠することが大切だと認識が変わってきました。南小学校でも、自分の睡眠を見直すために自己点検シートや調査を行います。ご家庭でもご協力よろしくお願いします。

